



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月28日

上場会社名 大阪製鐵株式会社

(コード番号：5449 東証・大証第一部)

(URL <http://www.osaka-seitetsu.co.jp>)

問合せ先 代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 望月 志郎

責任者 役職名 経理部長

氏名 小森 英城

TEL：(06) - 6552 - 1442

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・引当金の計上基準につきましては、一部簡便な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	24,321	(4.4)	5,193	(3.7)	5,223	(4.1)	3,009	(6.0)
17年3月期第1四半期	23,293	(-)	5,010	(-)	5,020	(-)	2,839	(-)
(参考)17年3月期	94,596		15,548		15,277		8,678	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	71.95	-
17年3月期第1四半期	67.98	-
(参考)17年3月期	207.69	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の売上高は、需要見合いの販売に徹したことなどにより販売単価が上昇し、243億2千1百万円（対前年同期比4.4%増）となりました。利益面では、販売単価の上昇及び原料価格が前年同四半期に対し低位であったことから、経常利益が52億2千3百万円（対前年同期比4.1%増）、四半期純利益が30億9百万円（同6.0%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	104,060	84,655	81.4	2,023.81
17年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	108,220	81,956	75.7	1,959.27

(注)当連結会計年度より四半期の財政状態の開示を行っているため、前年同四半期実績は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加はあったものの、法人税等の支払いにより現金及び預け金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に対し41億6千万円減少し、1,040億6千万円となりました。株主資本は、当期純利益を確保したことなどにより同26億9千9百万円増加し、846億5千5百万円となっております。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	45,600	8,530	4,830
通期	92,300	13,730	8,070

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 192円 92銭

4. 平成18年3月期の単独業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	34,600	6,170	3,660
通期	74,800	10,650	6,260

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 148円 74銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当中間期は、出荷量が減少する見込みである一方、原料鉄屑価格が当初予想より下回る見込みであることから、平成17年4月25日に発表しました中間連結業績予想（売上高472.5億円、経常利益60.0億円、当期純利益34.0億円）及び中間単独業績予想（売上高384.0億円、経常利益45.2億円、当期純利益27.0億円）を上記の通り修正致します。なお、下半期は、販売価格、原料価格等の動向が不透明であることから、前回発表数値を修正しておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は製品市況や原料価格等の変動要因により大きく異なる可能性があります。